

感動を与えられる。ピアニストを目指して

音員小学校5年生 室崎恵太郎さん

11月28日に開催された毎日新聞社主催全日本学生音楽コンクール（小学生の部）で、2位に輝いた室崎恵太郎さん。他にも数々のコンクールで優勝しています。今回は、室崎さんに、全国大会で入賞した時の心境や、演奏への想いなどを伺いました。

人一倍練習する努力家

2歳からピアノ遊びを始め、小学校1年生から本格的にピアノの練習をするようになった室崎さん。練習時間は、学校がある日は一日5時間、休みの日は一日8時間、毎日練習を欠かしません。

指導されているピアノ教室の伊井光子先生は「彼はしっかり集中して練習に取り組んでいる。向上心が強く、とても努力家」と評価します。

演奏では、ミスをしないようにとは考えず、自分の表現したいことだけを考えるように心掛けています。

「ピアノの練習は大変だけど、良い演奏ができた後、周りの人から『良かったよ』と言われると、嬉しくて大変だった時の気持ちが全部なくなる」と室崎さんは打ち明けます。

初挑戦にして2位

全日本学生音楽コンクールは歴

史あるコンクールで、ピアニストの登竜門とも言われています。室崎さんは初挑戦にして、全国大会で2位に入賞しました。

同コンクールの演奏時は緊張したという室崎さん。「あまり良い順位だと思っていなかったのですが、2位だと知ったときはびっくりしました」と当時の心境を話します。

感動を与えられるピアニストになりたい

室崎さんは、このコロナ禍の中、同コンクール以外にも、日本ベートヴェンピアノコンクールや大阪国際音楽コンクールなど、数々のコンクールで1位に輝きました。

今後の目標は、海外のコンクールに挑戦すること。「世界三大音楽コンクール」の一つとされ、ロシアで開催されるチャイコフスキー国際コンクールに出場したいと夢を語ります。「将来は、コンサートでプロのオーケストラと演奏をし

て、お客さんに感動を与えられる有名なピアニストになりたい」と目を輝かせます。



数々のコンクールで入賞



ピアノ教室にて

